

令和 6 年度第 2 回自動車整備技能登録試験〔学科(口述)試験〕

第 110 回〔一級小型自動車〕

令和 7 年 5 月 11 日

12 問 題 用 紙

【試験の注意事項】

1. 試験は問題 1 と問題 2 があり、試験時間はそれぞれ 5 分です。問題 1 が 5 分以内に終了した場合、試験開始後 5 分のブザー吹鳴まで問題 2 には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので、入室後は速やかに氏名(フルネーム)を申し出て、問題 1 に進みなさい。
3. 試験中、試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があった場合は、減点の対象となります。
4. 試験終了後は、この問題用紙を持ち帰ってください。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3 年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1. タナカ様は、「エンジンの始動時に異音が出るようになった。」という症状の点検を依頼するため、本日、その自動車で整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「基本的な問診」を実施しなさい。

なお、問診後に試験委員が点検方法などについて質問するので答えなさい。

続いて、「保安基準適合証の有効期間」について、法令でどのように定められているのか、試験委員の求めに応じて回答しなさい。

〔自動車に関する情報〕

自動車の種類		小型四輪自家用乗用車
初度登録年月		平成 26 年 11 月
エンジン		電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量		1.4 L
駆動方式		FF 2WD
トランスミッション		CVT
サスペンション	フロント	独立懸架式ストラット型
	リヤ	車軸懸架式トーション・ビーム型
ブレーキ	フロント	ディスク式
	リヤ	ディスク式
年間走行距離		約 7,000 km
総走行距離		68,500 km
自動車の乗車定員		5 人
その他		この自動車は、平日は通勤に、土日はレジャーや買い物に使われている。 また、アイドリング・ストップ機能は付いていない。

メモ欄

問題 2. スズキ様から、「エアコンの風が足元から切り替わらない。」及び、「ホーンの音が小さくなった。」という故障の修理と、「1 年定期点検整備」、「日常点検整備」及び「エンジン・オイルとオイル・フィルタの交換」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って、下記の情報と点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)～(2)の順序で説明しなさい。

- (1) 依頼された故障の内容、修理内容及び修理後の確認結果について

(2) 点検整備記録簿の次の項目について

① 交換した項目

② 調整及び測定の数値のある項目

なお、試験の都合上、以下のとおり留意して下さい。

- ① 点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
- ② 点検整備記録簿には必要事項を書き込んでもよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

2. 上記「1.(1)～(2)」の説明終了後、試験委員が「指定部品のうち、走行装置のホイールのサイズ変更時に留意すべきこと。」について質問するので答えなさい。

〔情 報〕

1. 自動車に関する情報

自動車の種類		小型四輪自家用乗用車
初度登録年月		平成 27 年 5 月
エンジン		電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量		1.8 L
駆動方式		FF 2WD
トランスミッション		CVT
ブレーキ	フロント	ディスク式
	リヤ	ドラム式
年間走行距離		約 7,500 km
総走行距離		64,000 km

2. 点検整備作業等

- (1) 点検の結果、「エアコン・モード・アクチュエータ」及び「ホーン」の交換を行い、1 年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。(作業内容は特定整備記録簿のとおり)
- (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはスズキ様の依頼により交換した。
- (3) 故障修理での部品交換は、スズキ様に連絡して了承を得てから行った。

特定整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)
(※ OBDとは車載式故障診断装置を示す。)

点検 項目	交換	調整	A	清掃	C	省略	P
良好 整備	○	△	締付	給油 (水)	L	該当 なし	✓

エンジン・ルーム点検	
■ パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷 	✓
■ 冷却装置 ファン・ベルトの緩み、損傷 冷却水の漏れ 	✓
室内点検	
■ プレーキ・ペダル 遊び 踏み込んだときの床板との すき間 プレーキの効き具合 	✓
■ 点火装置 スパーク・プラグの状態 (白金分、40℃以上は点検省略可) 点火時期 ディストリビュータのキャップ の状態 	✓
■ バッテリ ターミナル部の緩み、腐食 	✓
■ クラッチ・ペダル 遊び 切れたときの床板との すき間 	✓
■ エンジン 排気ガスの色 CO、HCの濃度 エア・クリナー・エレメントの 汚れ、詰まり、損傷 エア・クリナー・エレメント の交換 	✓

足廻り点検	
■ ディスク・ブレーキ ☆ ディスクとパッドとのすき間 ☆ プレーキ・パッドの摩耗 	✓
■ プレーキ・ドラム ☆ ドラムとライニングとのすき間 ☆ プレーキ・シューの摺動部分、 ライニングの摩耗 	✓
■ トランスミッション・ランスファ ☆ オイルの漏れ ☆ オイルの量 	✓
■ プロペラ・シャフト・ドライブ・シャフト ☆ 連結部の緩み 	✓

下廻り点検	
■ エンジン・オイル 漏れ 	✓
■ プレーキ・ホース、パイプ 漏れ、損傷、取付状態 	✓
■ エキゾースト・パイプ、マフラー ☆ 取付けの緩み、損傷、腐食 ☆ 連結部の取付けの緩み、 損傷、腐食 	✓

車載式故障診断装置点検	
■ OBDの診断の結果 ※ OBDの診断の結果 ※ 日常点検 ブレーキ液の量 バッテリー液の量 冷却水の量 エンジン・オイルの量 エンジンのかかり具合、異音 低速加速の状態 ヘッドランプ、ストップ・ランプ、 ウィンカー・ランプ等の点灯、 汚れ、損傷 ウインド・ウオッシュャの量 ウインド・ウオッシュャの噴射状態 ワイパの拭き取り状態 	✓

その他の点検 整備項目	
● エアコンの風が足元から切り替 わらない。 点検結果：エアコン・モード・アクチ ュエータの内部不良。 修理内容：エアコン・モード・アクチ ュエータを交換。 確認結果：エアコンの風の吹き出 し口の切り替え作動に異常がない ことを確認した。 ● ホーンの音が小さくなった。 点検結果：ホーンの内部不良。 修理内容：ホーンを交換。 確認結果：ホーンの音量に異常が ないことを確認した。	✓

交換部品等	数量
エンジン・オイル	3.3 L
オイル・フィルタ	1
エアコン・モード・アクチ ュエータ	1
ホーン	1

メンテナンズに関するアドバイス 省略

スズキ

省 略

住所

64,000 km

点検(整備)時の総走行距離

省 略

自動車登録番号又は車両番号又は車台番号

別表第6

自家用乗用車等

事業場名、所在地、認証番号

前輪	左	5.6 mm	右	5.5 mm
後輪	左	5.9 mm	右	5.8 mm
前輪	左	8.5 mm	右	8.4 mm
後輪	左	3.2 mm	右	3.3 mm

● CO、HC濃度
(アイドリング時)

CO	0.1	%
HC	10	ppm

● タイヤの溝の深さ
(1.6mm以上)

● プレーキ・パッド、
ライニングの厚さ

点検年月日

令和 7年 5月 11日

整備完了年月日

令和 7年 5月 11日

次回点検年月日

令和 8年 5月 日

整備主任者の氏名

省 略

事業場 控

省 略

省 略

省 略

省 略

省 略

問題 2 交換部品等

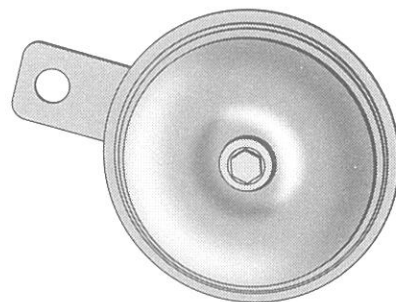
●エンジン・オイル

(図は省略)

●オイル・フィルタ

(図は省略)

●ホーン



●エアコン・モード・アクチュエータ

